

# 高度外国人材の採用・活躍推進に関する アンケート調査結果

## 目的

四国地域における高度外国人材雇用の現状や課題等について調査し、今後、当会が高度外国人材の採用拡大や活躍推進につながる活動に取り組むうえでの参考とする。

## 調査時期

2023年9月4日～21日

## 調査方法

電子メールで調査票送付

## 調査対象

四国に本社を置く四経連法人会員 168社

## 有効回答数

65社（回答率38.7%）

## 回答企業の属性

本社所在地	社
徳島県	7
香川県	38
愛媛県	13
高知県	7
<b>合計</b>	<b>65</b>

海外拠点数	社
1～2 拠点	6
3～5 拠点	2
6 拠点以上	4
なし	53
<b>合計</b>	<b>65</b>

従業員数	社
1人～49人	8
50人～99人	9
100人～299人	23
300人～999人	16
1,000人～	9
<b>合計</b>	<b>65</b>

業種	社
製造業	18
非製造業	47
<b>合計</b>	<b>65</b>

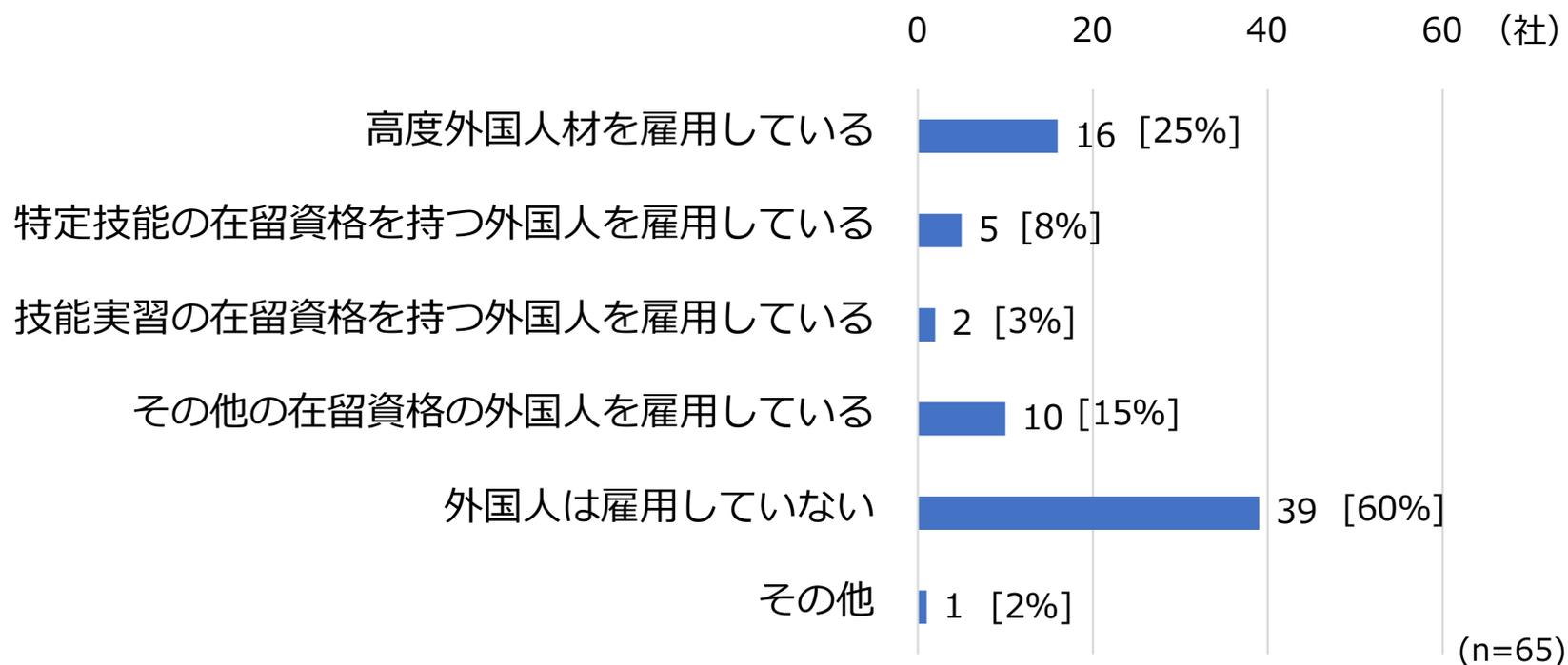
**本アンケートで取り上げる高度外国人材**とは、日本で働くために必要な専門的な技術や知識を持っている外国人で、特定技能の外国人労働者や技能実習生は含まない。

- ・政府は、2009年に出された「外国高度人材受入政策の本格的展開を（報告書）」の中で、高度人材について、「『国内の資本・労働とは補完関係にあり、代替することが出来ない良質な人材』であり、『我が国の産業にイノベーションをもたらすとともに、日本人との切磋琢磨を通じて専門的・技術的な労働市場の発展を促し、我が国労働市場の効率性を高めることが期待される人材』と定義付けることができる」としている。
- ・本アンケートでは、在留資格分類で『技術・人文知識・国際業務』『企業内転勤』『技能』『経営・管理』『法律・会計業務』『医療』『介護』『研究』『教育』『教授』『高度専門職』の在留資格を有し、就労目的で在留が認められるものを高度外国人材と定義する。

# 1. 外国人の雇用状況

高度外国人材を雇用している企業の割合は25%、外国人を雇用していない企業の割合は60%を占めている。

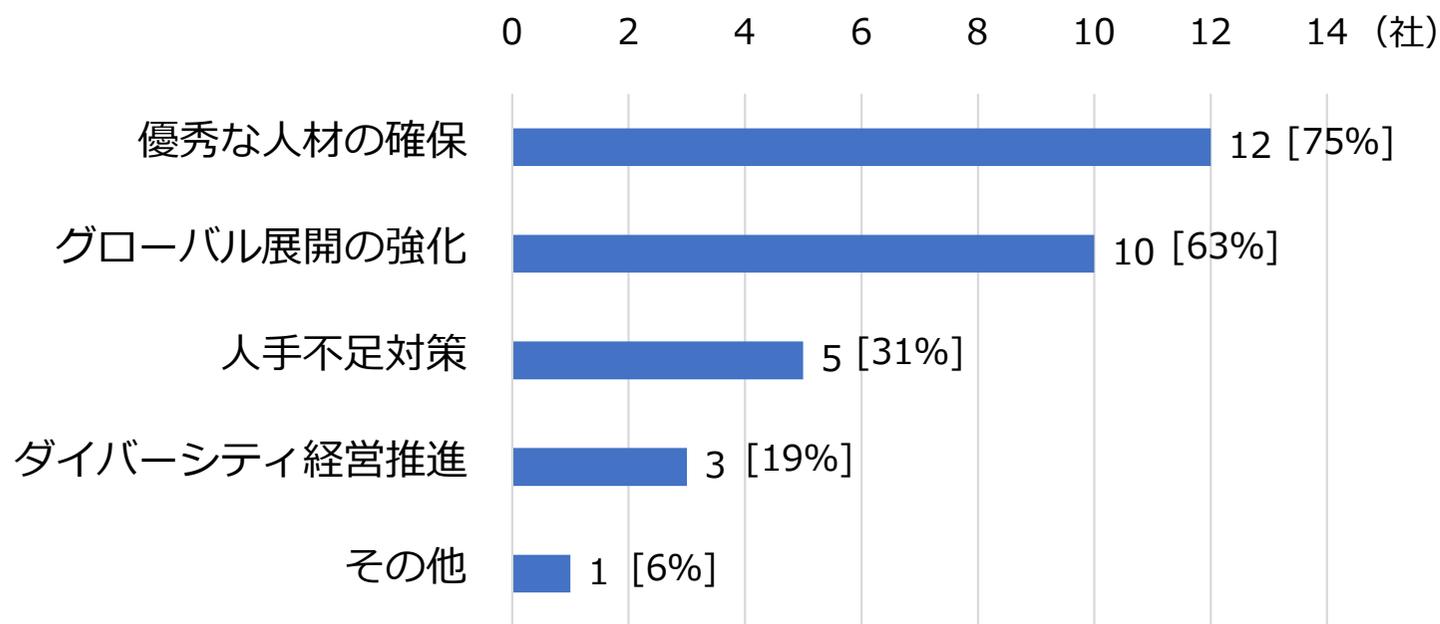
## Q. 現在、貴社では外国人を雇用していますか（複数選択可）



## 2. 高度外国人材の採用目的

高度外国人材を採用する目的については、「優秀な人材の確保」とする企業の割合（75%）や「グローバル展開の強化」とする企業の割合（63%）が高くなっている。

### Q. 高度外国人材の採用の主な目的は何ですか。（複数選択可）

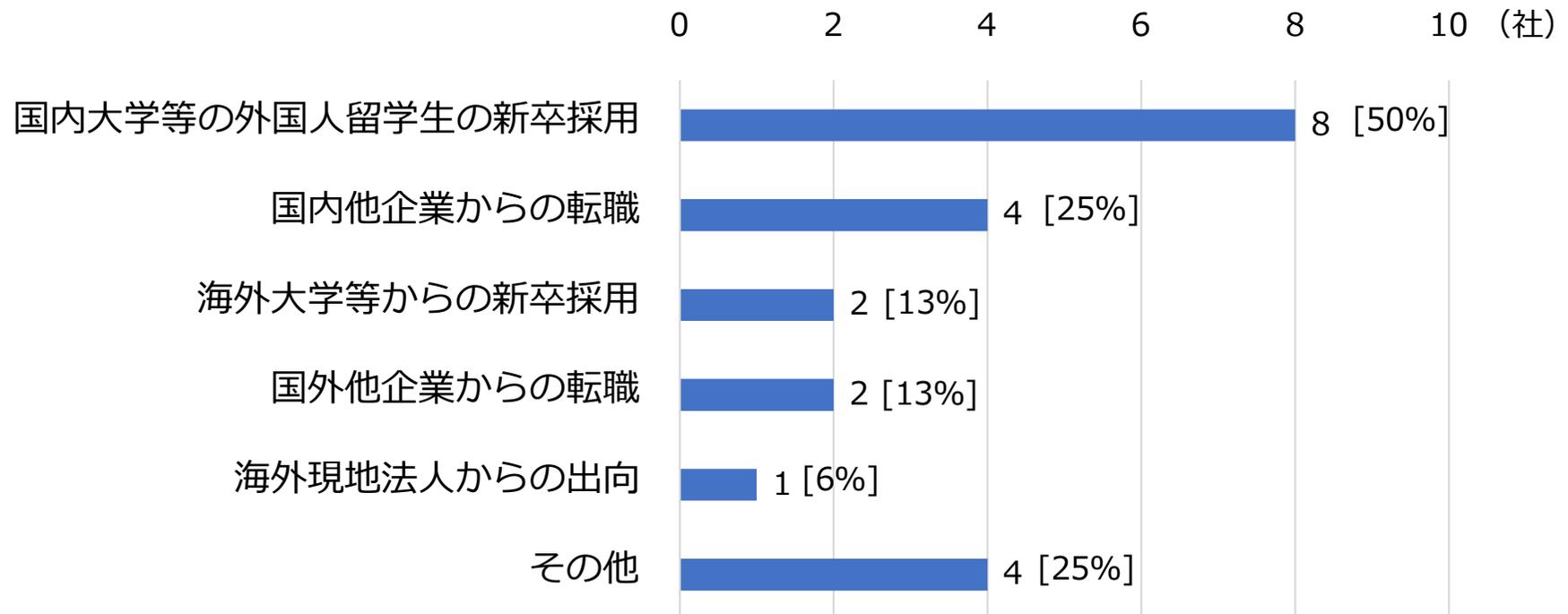


(n=16 : 高度外国人材を雇用している企業)

### 3. 高度外国人材の採用ソース

高度外国人材の採用ソースについては、「国内大学等の外国人留学生の新卒採用」とする企業の割合が50%と最も高くなっている。

#### Q. 高度外国人材の採用ソースはどのようになっていますか。（複数選択可）

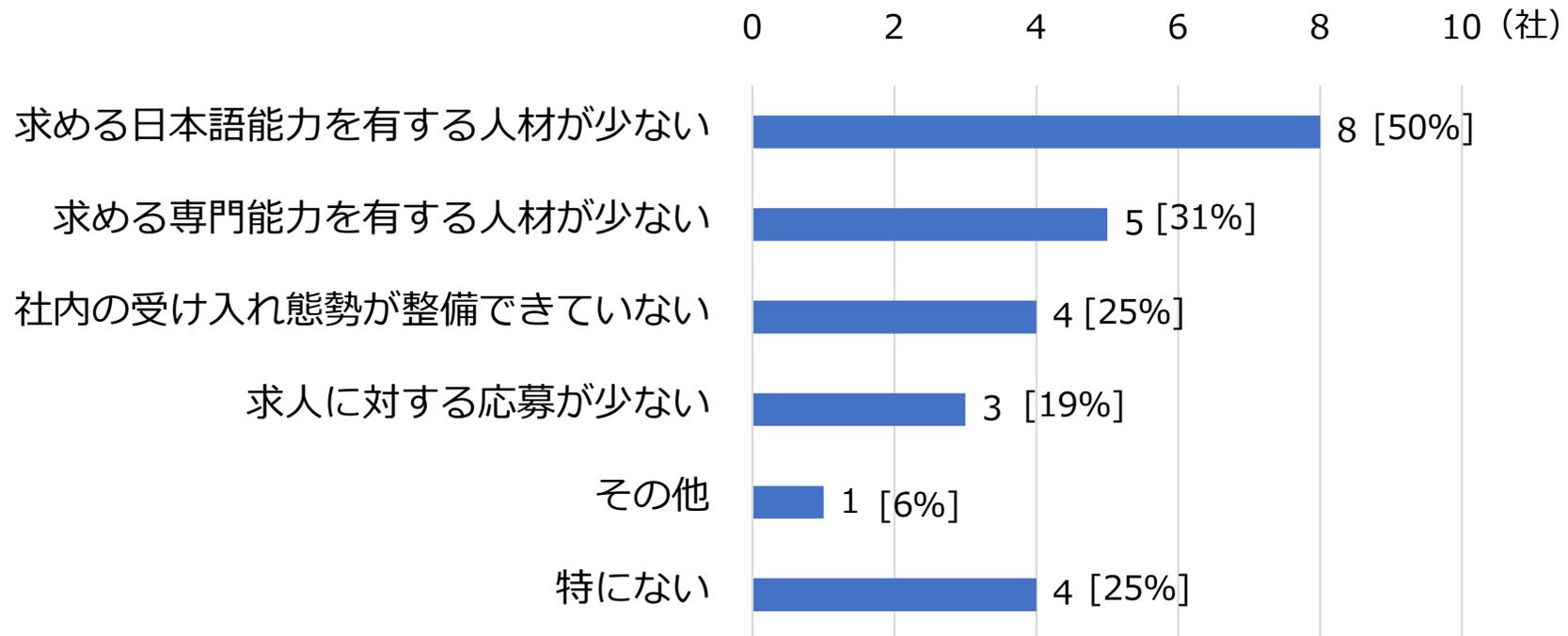


(n=16 : 高度外国人材を雇用している企業)

## 4. 高度外国人材の採用における課題

高度外国人材の採用における課題については、「求める日本語能力を有する人材が少ない」という企業の割合が50%と最も高くなっている。

**Q. 高度外国人材の採用における課題としてどのようなことが挙げられますか。**  
**(複数選択可)**

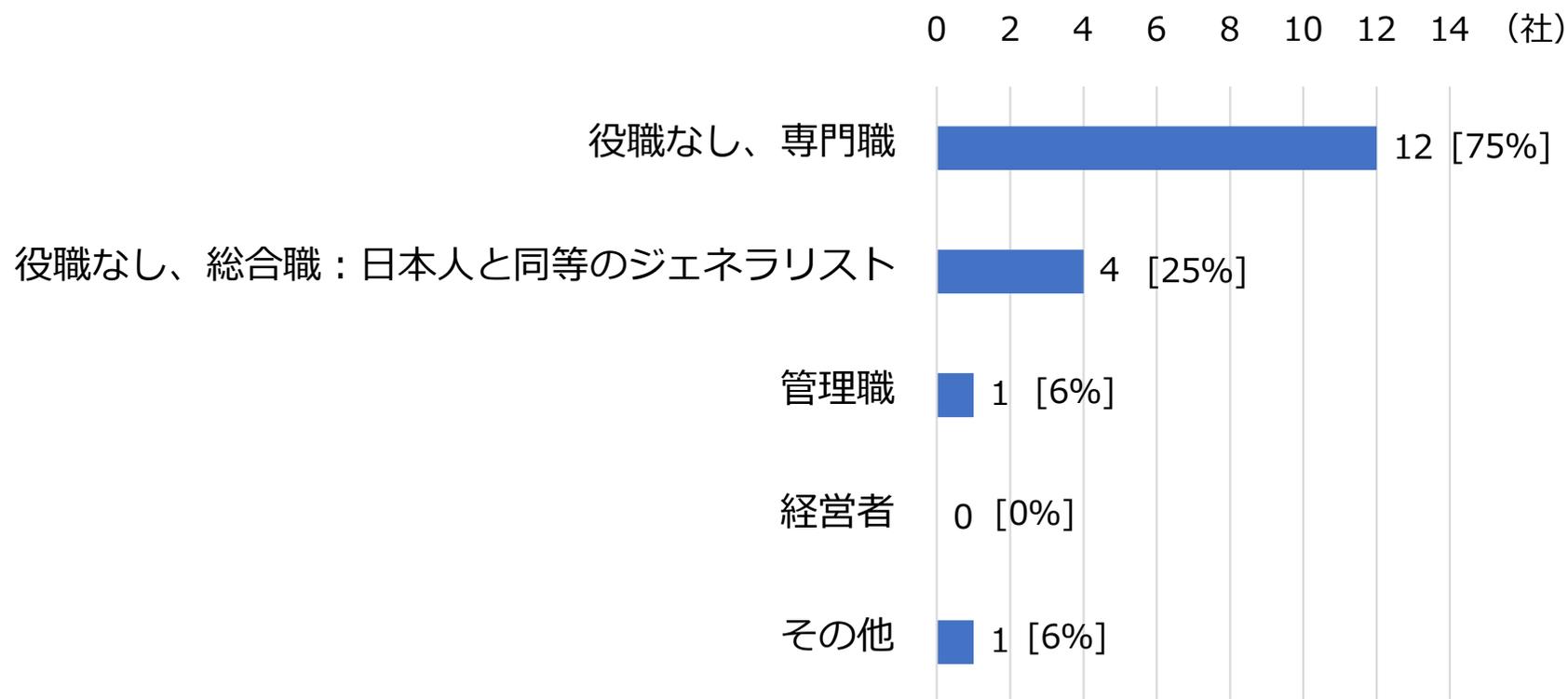


(n=16 : 高度外国人材を雇用している企業)

## 5. 高度外国人材の担当業務

高度外国人材の担当業務は「役職なし、専門職」（75%）が最も多く、「役職なし、総合職：日本人と同等のジェネラリスト」（25%）が続いている。

### Q. 高度外国人材はどのような業務を担当していますか。（複数選択可）

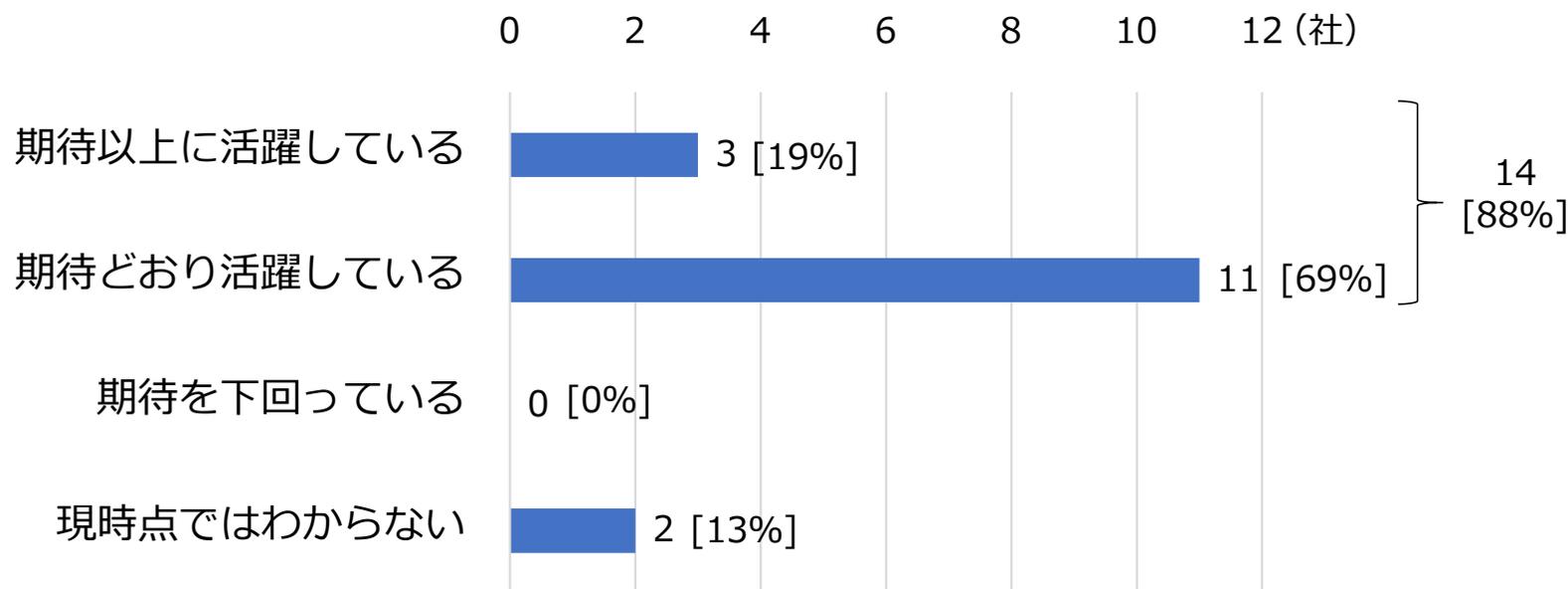


(n=16：高度外国人材を雇用している企業)

## 6. 高度外国人材の活躍に対する評価

雇用している高度外国人材に関して、約9割（88%）の企業が「期待以上に活躍している」（19%）または「期待どおり活躍している」（69%）と評価している。

### Q. 高度外国人材の活躍に対する全体的な評価はいかがですか。

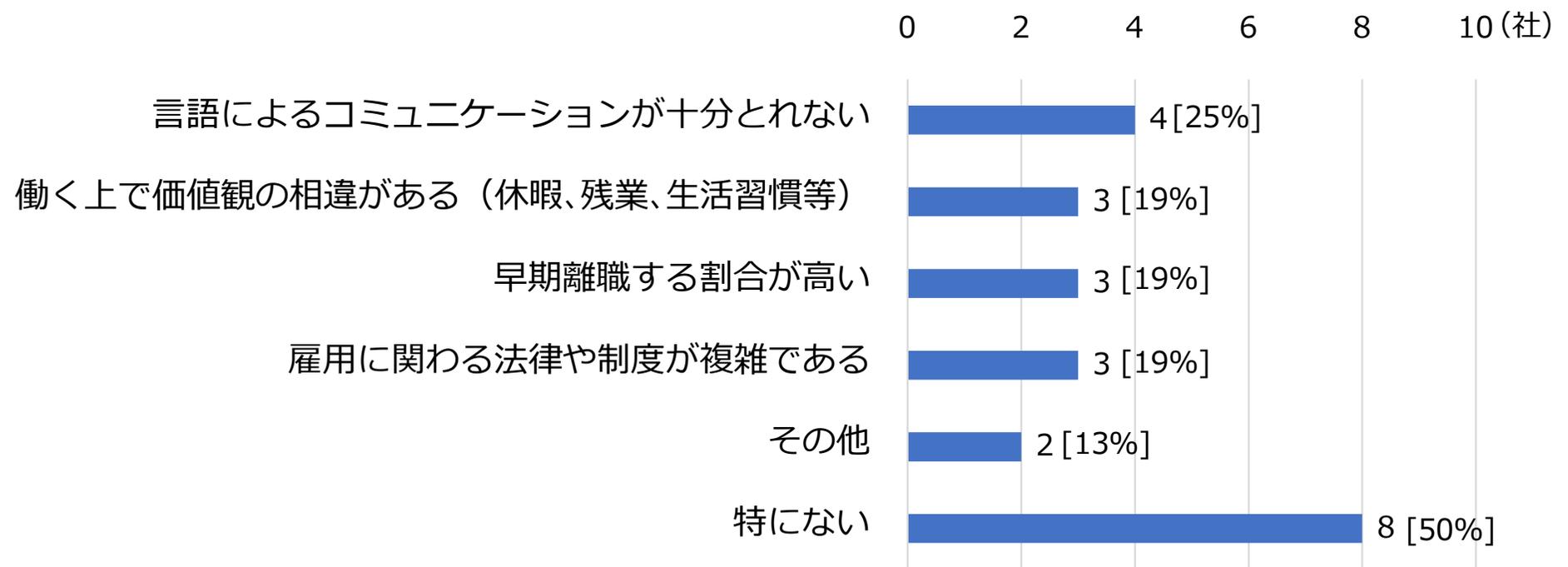


(n=16 : 高度外国人材を雇用している企業)

## 7. 高度外国人材の雇用する上で困っていること・課題

高度外国人材を雇用する上で、「言語によるコミュニケーションが十分とれない」(25%)等の課題が挙げられている一方で、高度外国人材を雇用している企業の半数(50%)は、困っていることや課題は「特にない」と回答している。

**Q. 高度外国人材を雇用する上で、困っていることや課題は何ですか。(複数選択可)**

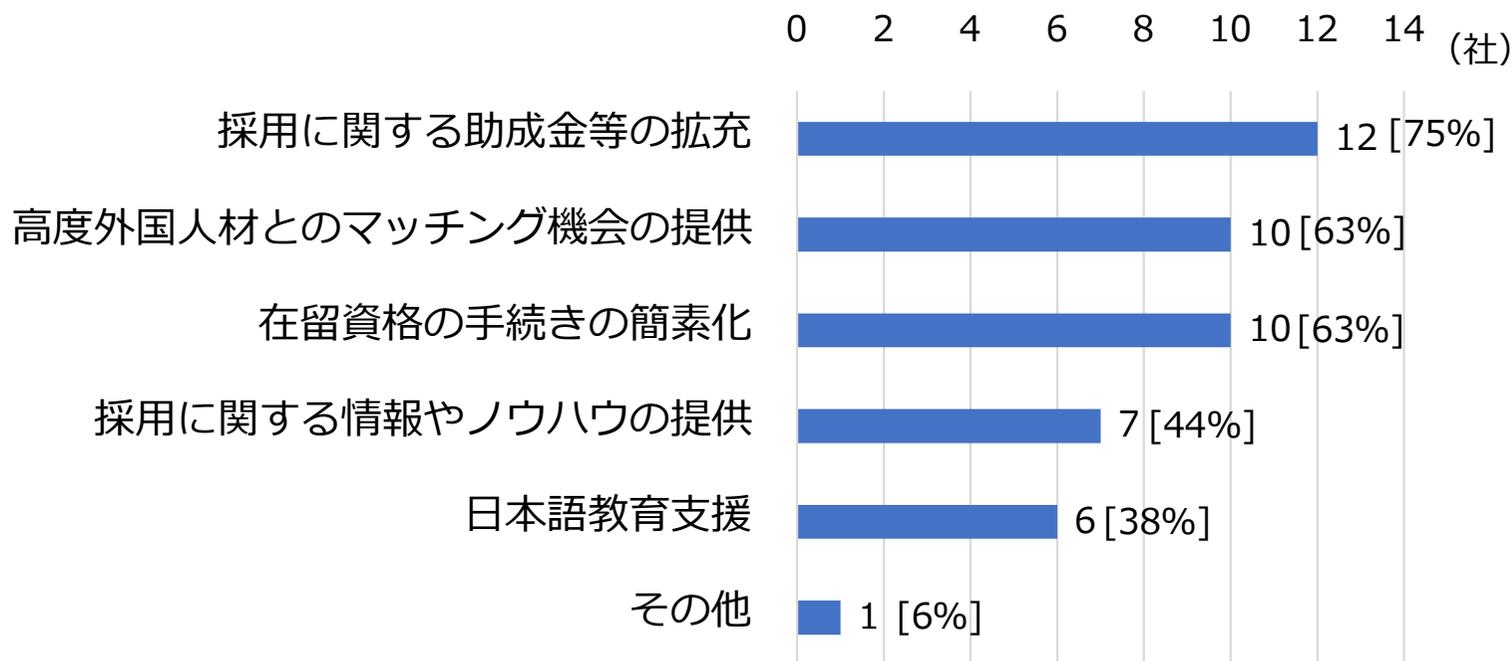


(n=16 : 高度外国人材を雇用している企業)

## 8. 国や自治体に対する支援ニーズ

高度外国人材の採用や雇用に関連して国や自治体から受けたい支援としては、「採用に関する助成金等の拡充」（75%）、「高度外国人材とのマッチング機会の提供」（63%）、「在留資格の手続きの簡素化」（63%）などが多く挙げられている。

**Q. 高度外国人材の採用・雇用に関連し、国や自治体からどのような支援があればよいと思いますか。（複数選択可）**

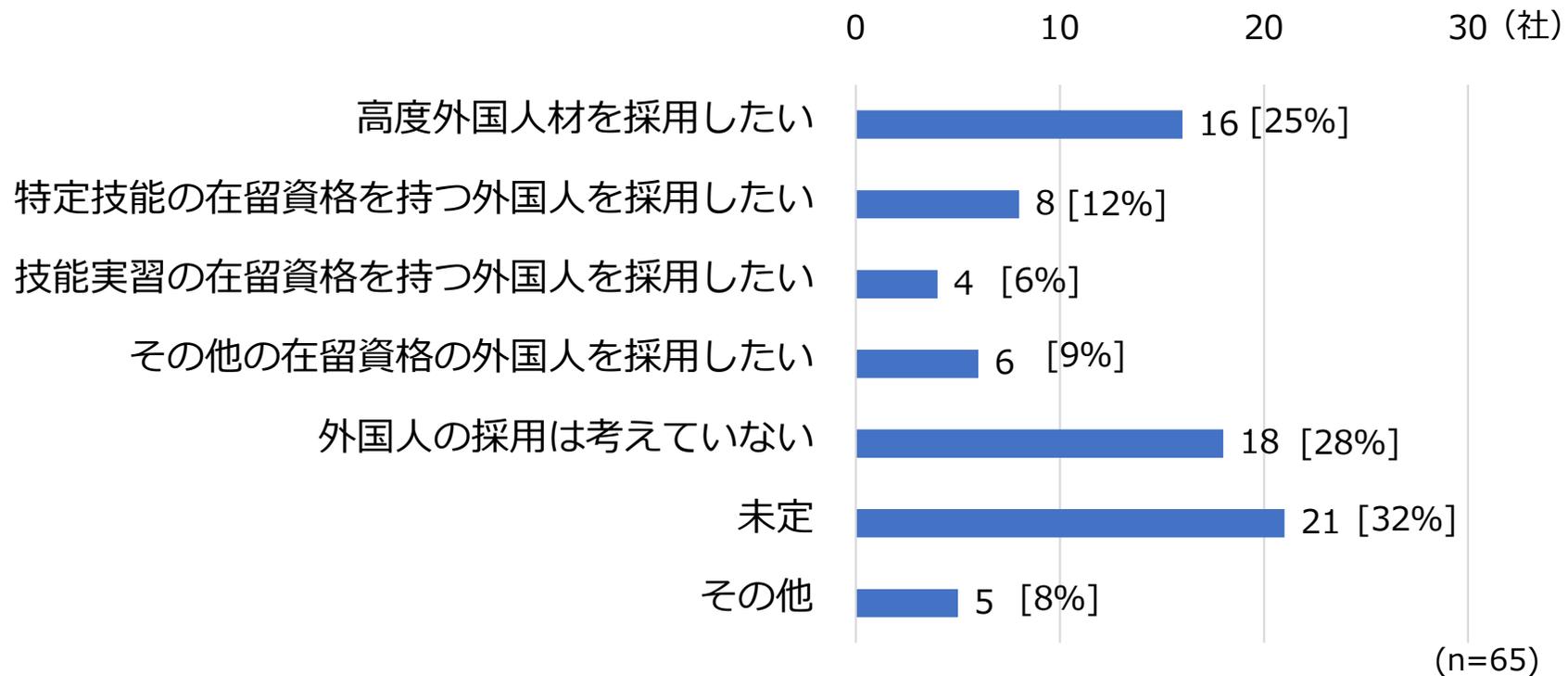


(n=16 : 高度外国人材を雇用している企業)

## 9. 今後の外国人の採用ニーズ

今後、「高度外国人材を採用したい」とする企業の割合は25%を占めている。一方、「外国人の採用は考えていない」とする企業の割合は28%、「未定」とする企業の割合は32%となっている

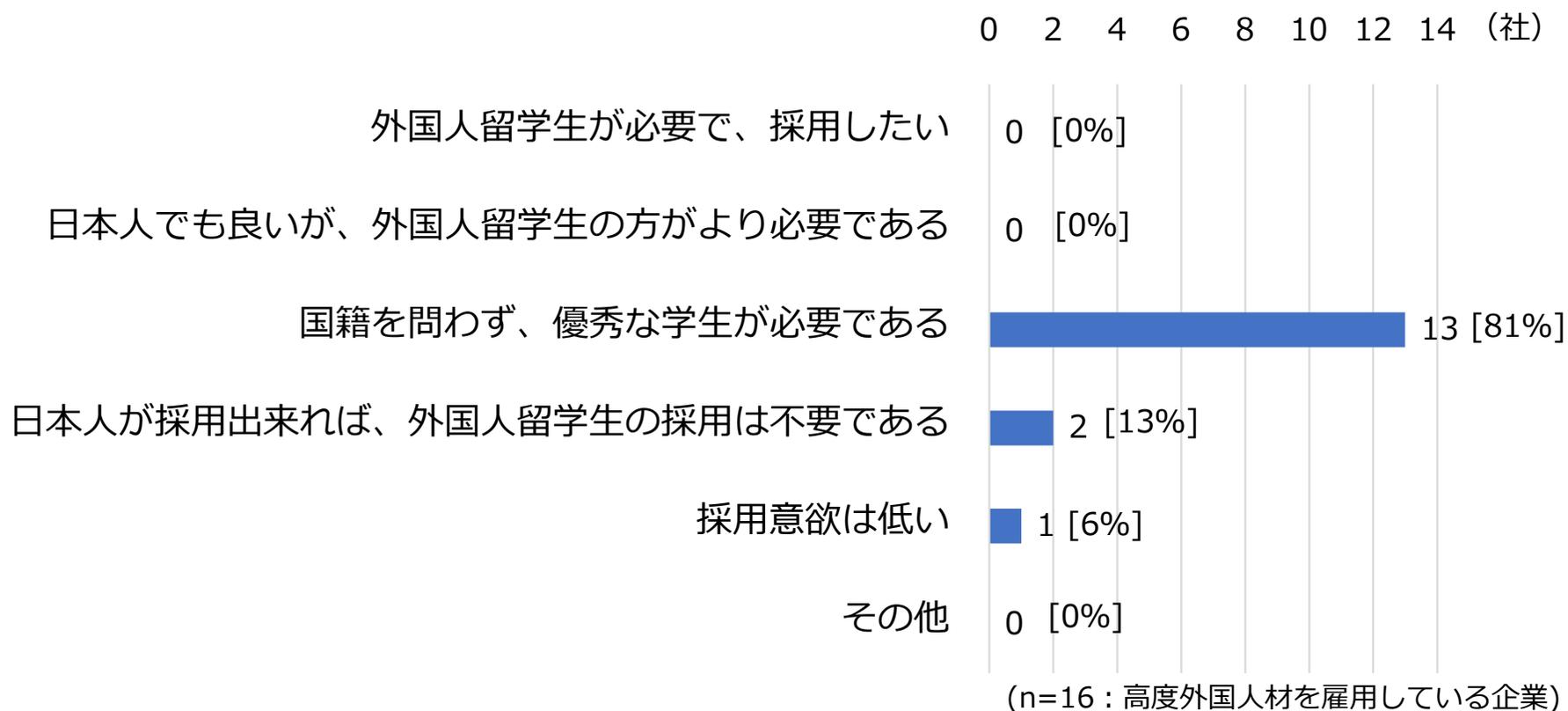
### Q. 今後の外国人の採用についてどのようにお考えですか。（複数選択可）



## 9-1. 外国人留学生の採用に対する意欲

高度外国人材の採用ソースとしての外国人留学生の採用に対する意欲については、「国籍を問わず、優秀な学生が必要である」との回答が8割（81%）を占めている。

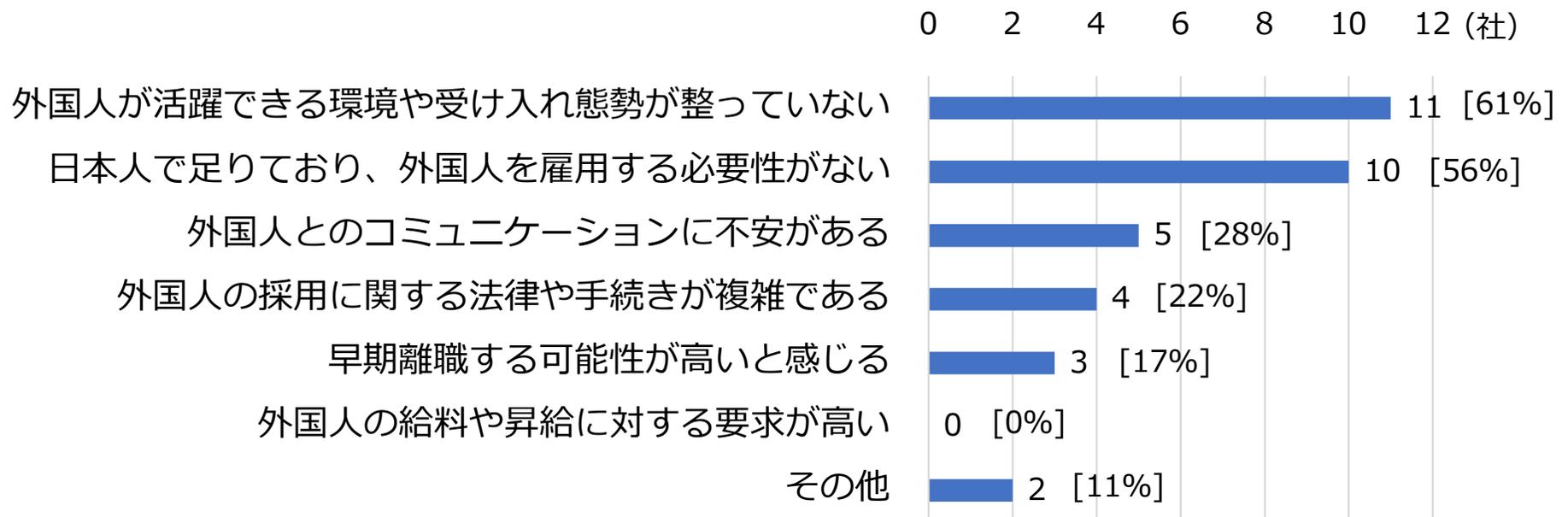
**Q. 高度外国人材の採用ソースとして、国内大学等の外国人留学生を採用することに対する意欲はいかがですか。**



## 9-2. 外国人の雇用を考えていない理由

外国人の雇用を考えていない理由については、「外国人が活躍できる環境や受け入れ体制が整っていない」（61%）や「日本人で足りており、外国人を雇用する必要性がない」（56%）が多く挙げられている

### Q. 外国人の雇用を考えていない理由を教えてください。（複数選択可）



(n=18：外国人の採用は考えていない企業)

## 10. 高度外国人材の採用・雇用に関する主なご意見・ご要望

- ・現時点では特定技能や技能実習がメインだが、高度外国人材についても四国内での活用事例などの情報に興味がある。
- ・高度外国人材も重要ではあるが、特定技能の資格を持つ外国人を含めた採用・活用について機会の提供を希望する。
- ・政策上、高度人材限定で拡大政策をとらざるを得ない。その他の枠はむしろ減らすべきではないか。
- ・喫緊の課題ではないものの、将来必要が生じる可能性を含め注視していきたい。
- ・インターンシップ生の受入に関する助成金の制度をつくってほしい。

以上